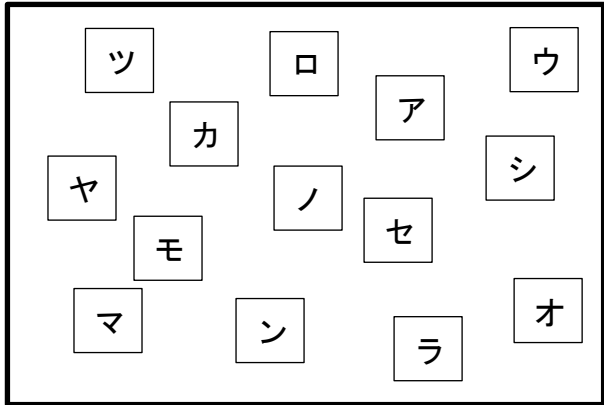


大項目	読むこと
小項目	カタカナの読み
タイトル (教材名)	カタカナかるた (文字カード編)
目的 身につけてほしい力	・ゲーム感覚で楽しみながら、カタカナの文字と音のマッチングを行う。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>(図)</p>  <p>・図のように、机の上にカタカナが一文字書かれたカードを複数枚置くため、カタカナ一文字のカードを作成する (50音)。 ・図では一定の方向にカードを置いているが、児童生徒が複数で学習を行う際は、カードの向きをランダムに置いてもよい。</p>
教材の使用方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 指導者は、カタカナが書かれたカードを机の上にランダムに置く。 ② 指導者は、児童生徒が机の上にあるカタカナカードを見ている (注意を向けている) ことを確認したのち、机の上にあるカードのいずれかのカタカナを読み上げる。 ③ 児童生徒は、指導者によって読み上げられたカタカナのカードを見つけてとる (カルタの要領で)。 ④ 児童生徒は、カード1枚ごとにとったカードを確認して、声に出して読む (文字と音のマッチングの確認)。 ⑤ 机上のカードが残り1枚 (児童生徒が1人の場合)、もしくは0枚 (児童生徒が複数人の場合) になれば終了。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・カタカナの読みがある程度定着してきていることを確認してから行う。 ・児童生徒の活動人数としては、指導者とのマンツーマン、複数人で行うなどが考えられる。複数人で行う際は、児童生徒から見てカードの向きが一定でなくなるため、文字の形を捉えることがむずかしい児童生徒がいる際は配慮が必要である。 ・「すべてのカードをとる」ことが児童生徒の負担になると考えられる際は、例えば「5枚のカードをとれば終了」など、児童生徒が活動意欲を失わないよう、柔軟にルールを変更する必要がある。